

文化施設 展覧会・イベント情報

休館日、開館時間などは各施設へお問い合わせください

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み等
豊科郷土博物館 TEL 72・5672	大麦の虫かご作り 関矢口健陽児さん	7月10日(日) 午前9時30分～正午 鐘の鳴る丘集会所	費30円(保険料)、穂高資料館 入館料 定10人(先着順) 持はさみ、作業できる服装 6月28日(火)から電話で
貞享義民記念館 TEL 77・7550	楡フォトクラブ写真展	7月9日(土)～24日(日) 場午前9時～午後5時	費無料(常設展は有料)
田淵行男記念館 TEL 72・9964	昆虫講座 蟲日和 第3回 夏を彩るチョウとその生態 関中田信好(館長)	7月3日(日) 午後4時～5時 場階展示室	費要入館料 定20人(先着順) 6月28日(火)から電話で
	赤沼健至写真展 アルプス銀座の四季	7月12日(火)～10月10日(月・祝) 午前9時～午後5時 場階展示室	費要入館料
豊科近代美術館 TEL 73・5638	手仕事くらぶ 古布でペットボトル入れを作ろう!! 関平田米子さん(友の会員)	7月7日(木) 午前9時30分～午後2時 場オリエンテーションルーム	費一般 2,000円 友の会会員 1,000円 定15人(先着順) 持裁縫道具、昼食 美術館へ直接または電話で

コラム 市誌編さん

♪槍で別れた 梓と高瀬
めぐり逢うのが 押野崎
北アルプスの裾野「安曇野」
は、まさに「安曇節」に唄わ
れた桃源郷です。
そこに位置する安曇野市
は、北アルプスからの清流が
流れる梓川と高瀬川が両腕を
広げて包み込む豊かな田園地
帯にあり、古くからの歴史と
文化が漂う地です。また両腕
が結ぶ押野崎(明科)も、安曇
野の重要な地域として今回の
「安曇野市誌」に載ります。
常念岳を朝な夕なに仰ぎな

第3回 安曇野の風景 多田井 幸視


から暮らす安曇野の人々の喜
怒哀楽を描いた「民俗編」で
は、豊かな自然の中で連綿と
紡いできた衣食住に始まる
日々の生活を、住民の目線に
沿ってつぶさにお伝えでき
よう委員一同取り組んでいま



穂高神社 御船祭り

**自作のカップでドリンク・ケーキ
セットを召し上がれ**

陶芸会館 & 近代美術館
コラボ企画



ドリンク・ケーキの
提供は9月30日ま
で。カップとソーサー
を持参してください。

陶芸体験で作ったカップとソーサーを近代美術館
内のカフェに持参するとドリンク・パウンドケー
キを提供します。

■陶芸体験
7月10日(日)
午前9時30分～11時30分
午後1時30分～3時30分
場穂高陶芸会館
定18歳以上の市民(グループ参加は3人まで)
費1,200円 各15人(先着順)
作品完成は8月中旬ごろの予定
7月2日(土)から陶芸会館へ参加費を添えて直接
穂高陶芸会館 TEL 82・6750

曲目・出演者

- 舞囃子「熊坂」
青木真由人
- 能「松風」
青木道喜・宝生欣哉
- 狂言「茶壺」
野村萬(人間国宝・文化勲章受章)
- 能「山姥」
片山九郎右衛門・宝生欣哉

午後0時30分ごろから、子どもた
ちによる能楽発表を行います。
演目：能「土蜘蛛」



昨年度披露された
子ども能(YouTube)▶

入場料


一般前売 3,000円
一般当日 3,500円
大学生 1,000円
高校生以下 500円

《プレイガイド》
穂高交流学习センターみら
い、豊科交流学习センター
きぼう、豊科・穂高・三郷・
堀金・明科公民館、観光情
報センター、平安堂あづみ
野店、明金堂書店、イオン
豊科店などで取り扱い



夏のひと時を幽玄の世界に誘う
第31回 信州安曇野能楽鑑賞会
観世流能楽師・青木道喜さんが主宰し、人間国宝の野村萬さんをはじめ、当世
一流役者の皆さんが、厳かな能楽やユーモアあふれる狂言の世界に誘います。

8月20日(土) 午後2時～(正午開場)
豊科公民館ホール(全席自由)
信州安曇野新能実行委員会(文化課内) TEL 71・2463



能楽鑑賞会HP

安曇野高橋節郎記念美術館特別展 高橋節郎とその系譜

名誉市民で文化勲章を受章した漆の芸術家 高橋節郎。その作品とともに、教え子である赤堀郁彦・並木恒延・三田村有純・故横山幸文(50音順)
4人の作家に光を当て、その代表作を展示します。

7月13日(水)～9月25日(日)

安曇野高橋節郎記念美術館
Takahashi Setsuro Art Museum of Azumino
TEL (0263) 81-3030 FAX (0263) 82-0551
http://setsuro-museum.com

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 入館料 一般620円 高校・大学生410円
※中学生以下・70歳以上の市民
障がい者手帳をお持ちのひとと介助者1名 無料

関連企画 赤堀・三田村両作家によるギャラリートーク
7月18日(月・祝) 午後2時～ 費無料(要入館料) 要



高橋節郎《星座煌煌》1988年